和創美人（わそうびじん）

日本文化伝承人 日本語講師 萩本攝子（はぎもとせっこ）さん

和の創造は限りなく美しく。
和の世界を愛し、
イキイキと自分らしく活躍する
輝く女性のことを意味します。
そんな和美人を訪ねて西へ東へ
素晴らしい出逢いを求めて……
林良江が突撃！
その美しさの秘密をお届けします。

今月の和創美人は「日本文化伝承人 日本語講師」の萩本攝子さんです。大のきもの好きが高じて日本語講師の授業もきものを行うという萩本さんの授業に潜入しました。

訪ねた先は東京の浅草橋にある「国際デュアルビジネス専門学校」の教室。語学留学で日本を訪れている外国人の生徒さんたちに混じって2時間、萩本さんの授業を受講してからのインタビューです。

授業が終わった後、生徒さんたちと記念撮影。
皆さまの笑顔から信頼関係を感じ取ることができました。

林　どんな目的で日本に留学している皆さんで、どんなことを教えているのでしょうか？

萩本　観光、空港、税関などの分野に就職することを目指して留学をしている、主に中国、韓国、キルギスなどの国の若者たちに、日本語のスキルアップと日本文化を教えています。彼らは母国で日本について勉強をしてきており、日本文化への関心も高く、茶道やきものについては特に興味を持っている人が少なくありません。私は日本文化の授業には特に力が入ります。かといってあまりに専門性が高くなってしまうと伝わりません。彼らの知的好奇心を適度に刺激しながら「もっと知りたい」と思ってもらえるように、私が作ったテキストも活用しています。

林　具体的には？

萩本　「お茶」をテーマにした「ティーロード」と、「きもの」と「江戸」の3シリーズで、お茶ならば、その歴史、煎茶、玉露、抹茶といった茶葉の種類、きものならばその歴史や現代のきもの事情、江戸は、日本人の知恵や合理的な暮らしなど、「聞いて分かる、見て分かる、触って分かる」をモットーに、日本語を習い始めたばかりの生徒にも理解しやすいよう、時に英語を交えながら、理解を深めてもらえるように工夫をしています。今後は、日本の子どもたちや文化愛好者のグループなどにも、講演などしていきたいと考えています。

林　「しごとの着物　はたらく着物　おしゃれも着物」がキャッチフレーズと伺いました。どんな着こなしを心がけていらっしゃいますか？

萩本　教壇では、他の先生方のスーツ姿とアンバランスにならないように、派手な小紋や花柄のおしゃれ着などを避け、地味な色目や無地、縞などの紬が多いです。裾が擦り切れるまで愛用していますよ。帯は動きやすいように半幅帯が多いですね。時々私のきもの姿に感化されて、授業に着てくる生徒さんもいます。とてもうれしいです。

これからも、そういう人が一人でも増えるように頑張りたいです。

林　ますますのご活躍をお祈りしています。

日本文化伝承人　日本語講師
萩本攝子さん

【プロフィール】

- 学校法人 髙村育英会 国際デュアルビジネス専門学校 非常勤 日本語講師
- 日本橋きもの倶楽部 事務局運営部長
- NPO法人 きものを着る習慣をつくる協議会
- 被災地の手仕事プロジェクト事務局

熱気あふれる授業を終えた萩本さんと。

林 良江さんときものでお出かけ
今月の和創美イベント

11月17日（日）11:00　青梅線立川駅改札口集合

「櫛かんざし美術館＆澤乃井小澤酒造見学」奥多摩ツアー

紅葉の奥多摩で自然を満喫し、酒蔵も見学。「櫛かんざし美術館」では収集家として有名な岡崎智予さんのコレクションのほか、見応えのある展示物を鑑賞。

会費：交通費、入館料、食事代とも各自で。

詳細・お申し込みは「和創美」HPまたはお電話で
http://www.wasoubi.jp/
和創美 CLICK　☎090-7010-4723